

[公財]いわて産業振興センター広報誌

産業情報

INDUSTRY INFORMATION IWATE

いわて

2025/8・9 Vol.236

★キラリ輝く★

岩手の
企業

陸前高田市

ひころいちファーム

米粉のパスタスナック「ポリフリー」で
岩手の食の豊かさを伝える



各部事業紹介…6・7

令和7年度いわて商談会参加企業募集…8



カリポリ食感がたまらない米粉パスタスナック「ポリフリー」。
左から「のり塩味」「えびせん風」「野菜ブイヨン味」「ニラ南蛮味」「オニオン味」「赤しそ梅味」。



フジリという形の Pasta。フジリはイタリア語で「らせん」の意味。グルテンフリーでアレルギーの人もそうでない人も一緒に味わえる。

米粉のパスタスナック「ポリフリー」で 岩手の食の豊かさを伝える

陸前高田市のひころいちファームは、米粉を使ったパスタをこめ油で揚げたスナック菓子「ポリフリー」を製造販売している。発売以降、関東圏で人気急上昇。グルテンフリーの snacks は、アレルギーや食に対して意識の高い人から注目を集めている。6次産業化への思いについて話を聞いた。

陸前高田市 ひころいちファーム

農業の大切さを 伝える人になりたい

陸前高田市で農業をしながら6次産業化商品の開発、製造販売を手掛ける「ひころいちファーム」。岩手県産の米粉を使ったパスタスナック「ポリフリー」が、首都圏を中心に好評を博している。代表の村上一憲さんが農業の道に進もうと思ったのは高校生の頃。当時工業高校に通いながら、漠然と工業以外の進学

先を考えていた。「実家は農業をしており、田んぼに囲まれた風景が当たり前の生活でした。ある時、テレビで日本の食料自給率が危機的状況だというニュースを見ました。その時自分が何かしなければと思ったんです」と使命感を持った村上さん。以来、「農業の大切さを伝える人になりたい」と思うようになった。それから猛勉強して大学に進学。大学卒業後は岩手県内の観光牧場に10年間勤務した。2010年2月に独立

し、ひころいちファームを創業した。

米粉パスタから転換 スナック菓子に

創業当初、ひころいちファームは小規模の農業からはじまった。全国に岩手の農業の魅力を発信するものを作りたいと思い起業したが、何で勝負したら良いか思案に暮れていた。そんな折に2011年東日本大震災津波発生。村上さんは竹藪を



1 ポリフリーは陸前高田市にある自社工場で製造している。

よじのぼり九死に一生を得た。「まだ俺には夢がある。ここで終わるわけにはいかない」そんな思いで被災から立ち上がり、仮設の工場で米粉をつかった生麺作りを始めた。商品は数々の賞を受賞し、知名度も上がった。ところが販路がなかなか拡大しない。コンサルに相談するといくつか問題点が見つかった。「商品がニッチすぎたんです。健康志向の料理好きな人なら良さをわかってもらえても、そこから広がらない。そこで、スナック菓子だったら美味

しさがすぐ伝わると考えました」と村上さん。米粉パスタをこめ油で揚げ、スナック菓子の商品を開発。2021年から「ポリフリー」の販売を開始した。

グルテンフリー 添加物不使用の菓子

前職の社長の理念が村上さんに多大な影響を与えている。「『これからは6次産業化だ』と、当時の社長がおっしゃっていました。それと『食の

安全』を守ること。その言葉を忘れないように商品開発に活かしています」と村上さん。その理念は「ポリフリー」にも生かされている。グルテンフリー、添加物は不使用。子どもから大人まで安心して味わえるスナック菓子なのだ。のり塩味には地元陸前高田の「すじ青のり」を使用。そのほかのフレーバーにも、宮古市川井地区の「赤しそ」、三陸産の「玉ねぎ」、「さくらこあみ」など、県産食材を使用し、岩手の食材の豊かさを伝える商品になっている。

展示会を活用し 首都圏に販路を拡大

これまでは、道の駅や地元の商店などで販売していたが、首都圏にも販路を開拓するため2024年国内最大級の食品展示会「スーパーマーケット・トレードショー」に参加した。岩手県ブースを設置し県内事業者の出店支援がある展示会

▶詳細は5ページ **この事業を活用しました**

だった。「バイヤーからの反応が良く『グルテンフリーでこんなにおいしい商品はない』『海外にも受けるんじゃないか』と嬉しい声をいただきました」と村上さん。品質だけでなく味にも高評価を得た。ロサンゼルススーパーマーケットで「ひころいちファームフェア」を開催する



2



3

2「6次産業化」をモットーに農業も手掛ける。
3カリポリ食感になるよう生パスタをカラリと揚げる。こめ油を使用。

代表メッセージ ひころいちファーム 代表 村上 一憲さん

「ポリフリー」のネーミングはカリポリという食感の「ポリ」とグルテンフリー、アレルゲンフリーの「フリー」から名付けました。食の安全を心がけ、食品添加物を使用せず、アレルギーの人だけでなく幅広い人に召し上がっていただいています。おつまみにもぴったりなので、陸前高田のお酒やビールと一緒に味わっていただきたいです。

創業以来、東日本大震災やコロナなどいろいろなことがありましたが、チャンスはまた来ると信じてきました。夢は言葉にすることで実現に近づくと信じています。高校生の時に思い描いた「農業の大切さを伝える人になりたい」という夢は今も変わらずに持ち続けています。ゆくゆくは、弊社で修行した人が独立して新たな会社を立ち上げ、地元の産業を活性化できたらと考えています。

代表 Profile 1978年生まれ。石巻専修大学理工学部卒。大船渡市出身、陸前高田市在住。ひころいちファーム代表。野菜ソムリエ。

企業データ
CORPORATE DATA

会社名 ひころいちファーム
所在地 岩手県陸前高田市米崎町字道の上69
TEL 0192-47-3991
代表者 村上 一憲
従業員 5人
事業内容 農業(水稲、野菜栽培)、食品製造(製粉・製麺・菓子製造)
URL <https://www.hikoroichi-farm.com/>

沿革
HISTORY

2010年 ひころいちファーム創業
2011年 仮設で米粉パスタの製造を始める
2014年 米粉パスタがふるさと食品コンクールにて優秀賞を受賞
2021年 工房と直営店をオープン
10月「ポリフリー」野菜パイオン味 発売
2022年 「ポリフリー」第2弾えびせん風、第3弾のり塩味 発売
2023年 「ポリフリー」第4弾赤しそ梅味、第5弾オニオン味 発売
「ポリフリー」がIWATE FOOD&CRAFT AWARD2023にてグランプリを受賞
2024年 「ポリフリー」第6弾ニラ南蛮味 発売

る。村上さんは「まだまだ夢の途中です。ゆくゆくは循環型の工場を作りたい。そして、自分が作ったものを食べて一日中楽しんでもらえるような場所も作りたい」と目を輝かせる。今後も「ポリフリー」と「ひころいちファーム」のさらなる飛躍に注目したい。



「ポリフリー」は、生パスタを作り、こめ油でカリッと揚げる。パスタの形はフジッリ。つまんで食べるのにちょうど良いサイズだ。カリポリ食感を出すため、毎日パスタの加水量を調節するなど工夫している。

農業の魅力を伝えるため、フレーバーにも地元の食材を使用。生産者から食材を仕入れ、自社で試行錯誤しながらフレーバーパウダーを作る。商品の中には、地元の酒蔵で精米の際に出た米粉を使っているものもあり、地元の生産者とのつながりも大切にしている。

保存料などの食品添加物を使っていないため子どもから大人まで安心して食べることができるのも魅力だ。「おつまみとして購入したらこどもが全部平らげてしまった」など、嬉しいエピソードもあるそうだ。



4



5

4パスタマシンで生パスタを作り、乾燥させずに生パスタを揚げる。乾燥の手間を省くことで効率化を図る。
5ひと月約15,000袋製造。PB商品の依頼もあり工場はフル回転だ。

この事業を活用しました

スーパーマーケット・トレードショー出店支援

県内の食品製造業の新たな販路開拓や販売拡大につなげるため、国内最大級の食品展示商談会である「スーパーマーケット・トレードショー」に岩手県ブースを設置し、県内事業者の出店を支援しています。展示会出展に合わせて専門家による効果的なPR方法等のアドバイスも行っています。昨年度は33の事業者が出展し、本展示会出展を契機に多くの取引が成約となりました。全国の大手バイヤーが参加する本展示会への参加を是非ともご検討ください。

📞 お問い合わせ 産業支援部 地域産業担当 TEL:019-631-3823



食品関連産業活性化支援事業に係る専門家派遣事業

県内の食品製造事業者が抱える自社商品の開発及び販路開拓、生産性向上に関する課題を解決するため、専門家による助言・指導を行っています。商品パッケージに関する相談やレシピ開発、商談会でのバイヤーへの訴求方法、EC販売導入への助言等も可能ですので、関心のある事業者様はお気軽にご相談ください。

相談事例 商品開発に行き詰っている／他社との差別化を明確にしたい／無駄のない作業で生産性を向上させたい…など

📞 お問い合わせ 産業支援部 地域産業担当 TEL:019-631-3823



各部事業紹介 事業者様の取り組みをサポートします。

産業支援部

【岩手県よろず支援拠点】のご案内

岩手県よろず支援拠点は、国が設置している無料の経営相談所であり、「中小・小規模企業を活性化することこそが岩手の活性化につながる」という理念のもと、チームが一体となって相談者を支援します。

経営上のご相談であればどのような内容でも構いません。また相談は何度でも無料で、来訪、オンライン、電話又はメールにて、経営課題に応じた専門家たちがチーム一体となって対応します。

今般、チームに新たに3名の専門家が加わりましたので、積極的にご相談願います。

① 食品開発コンサルタント：伊藤 良仁

公的機関の技術者としての経験を生かし、加工食品の品質保証を含めた商品開発・設計、製造工程構築、素材開拓、衛生管理等を総合的にアドバイス。

食品関係に特有の複雑な課題を整理しながら、具体的に実施可能な最善策を提案、「勝ち目が高い戦略設計」をサポート。



■ミニセミナー（無料）のご案内

上記でご紹介した経営相談以外にも、各専門家が「売上拡大」「経営力強化」の一助となるセミナーを毎月開催しています。こちらも、併せてご活用ください。

よろずミニセミナー



② 社会保険労務士、中小企業診断士：田鎖 徹

年金事務所に長年勤務し、社会保険の適用や徴収事務、年金相談等に従事。現在は社会保険労務士事務所で研鑽を積み、就業規則改正や助成金支援等を対応。複数の資格を活用し、多角的な視点で中小企業・小規模事業者の職場環境改善や経営力向上と併せて、経営者と従業員双方にとっての課題解決をサポートします。



③ クリエイティブディレクター：渡辺 炎如

経営視点を持ちながら、商品・サービスの差別化ポイントを見いだし、「稼ぐにつながるデザイン」が得意です。2003年から岩手を拠点として、県内外でデザイン制作に従事。グラフィックデザインのみならず、映像制作やWebサイト制作など販促に関わる幅広い分野における知見を活かし、相談者の課題解決に取り組めます。



よろずHP



Facebook



Instagram



■ お問い合わせ ■

岩手県よろず支援拠点 TEL.019-631-3826

産業支援部

【令和7年度(下期開催)【中堅管理者・後継者養成講座】のご案内

企業が繁栄・存続していくためには、トップを支える『人財』の養成が不可欠です。本講座では、『人財』に要求される次のテーマについて、実習と体験学習に基づいて体系的に習得することが可能となっております。

テ ィ マ ①経営理念・戦略 ②経営計数の理解

③リーダーシップと部下育成

◇今後、部下の指導に役立てていきたい。
◇人を活かす立場にいる方々と、普段の悩み・苦労について共有する機会もあるなど、大変勉強になった。

第1講9/25-26、第2講10/23-24、

第3講11/19-20

当センター 会議室(予定)

16名(定員に達し次第締切)

詳細はセンターHPにてご確認ください。

■ お問い合わせ ■

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

産業支援部

【いわて産業人材奨学金返還支援制度】のご案内

当センターは、岩手県と連携し、将来の県内産業を担う人材の確保・定着を促進するため、学生が大学等を卒業後、または既卒者がU・Iターンし、県内の認定企業に就業する場合、奨学金の返還支援を行っており、支援対象者を募集中です。

■募集人員：120名

■募集期間：令和7年9月30日(火)まで

センター奨学金HP



X(旧Twitter)



奨学金支援認定企業(岩手県HP)



また認定企業(就職先・返還支援企業)についても募集を行っております。こちらは、岩手県商工労働観光部ものづくり自動車産業振興室(019-629-5552)への申込みとなります。自社の採用ツールとしてご活用ください。

■ お問い合わせ ■

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

産学連携部

【「第2回ILCチャレンジ部」のご案内

いわて加速器関連産業研究会(事務局：当センター)では、国際リニアコライダー(ILC)の日本誘致を見据え、参画できる企業の掘り起こしを目的に、勉強会・実習会「ILCチャレンジ部」を開催しております。

今回は「低品位排熱回収について」をテーマに、実習を通して、ILCからの廃熱回収分野への参画可能性、および「グリーンILC(サステナビリティに配慮したILCの設置・運営)」について考える機会とします。

【開催概要】

開催日 令和7年9月2日(火) 13:00~16:00

会場 岩手ILC連携室・オープンラボ
(岩手県先端科学技術研究センター1階)
※当センターのある建物です

受講対象 いわて加速器関連産業研究会会員を主としますが、中小企業であればどなたでも可

募集人数 10名程度

参加費 無料

■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825

ものづくり振興部

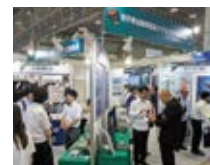
【第37回ものづくりワールドへの出展のご報告

7月9日~11日の3日間、幕張メッセで開催された「第37回ものづくりワールド」に県内企業5社と共同で出展しました。

本展示会は、10種類の専門展で構成されており、製造業を対象とした国内最大規模の集客力を誇る専門技術展で、今年は1,975社が出展し、3日間の来場者数は55,749名でした。当センターの共同出展ブースは、機械部品、加工技術等を一堂に集めた「機械要素技術展」のエリアに出展しました。

当センターによる共同出展は令和3年度以来、4年ぶりの出展でしたが、今回は自動車の電動化に向けた支援の一環としてCASE対応、電動車部品製造等に取り組む県内企業5社との共同出展で、各社とも得意とする技術力をPRし、今後の事業展開、販路拡大に向けた商談を行いました。

今後も自動車の電動化に向けた取り組みや取引拡大に向けた支援に取り組んでまいりますので、お気軽にお問い合わせください。



■ お問い合わせ ■

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

産学連携部

【海外出願支援事業第2回公募について

当センターでは、岩手県内中小企業者等の海外展開支援の一環として、中小企業者等が外国への事業展開にあたり行う特許等の外国出願に要する経費の一部を補助することにより、中小企業者等による諸外国での戦略的な特許等の取得に向けた外国出願を促進することを目的として、本事業を実施しております。

令和7年度第2回公募を9月5日(金)まで実施中です。

【概要】

公募期間 令和7年7月22日(火)~9月5日(金) 16:00締切
補助対象者 原則として、日本国特許庁に対して特許、実用新案、意匠、または商標を出願済みで、本補助金の交付決定後、年度内に外国特許庁等へ、優先権を主張して同一内容の出願を行う予定があるもの。

補助対象経費 外国特許庁への出願料、国内・現地代理人費用、翻訳費等

補助率 1/2以内(補助金額には上限があります)
※詳しくはセンターWEBサイトをご覧ください。
<https://www.joho-iwate.or.jp/fipr>

■ お問い合わせ ■

産学連携部 TEL.019-631-3825

ものづくり振興部

【「青森・秋田・岩手・北海道合同商談会」を開催しました

青森・秋田・岩手・北海道のものづくり企業における新規取引拡大の促進を図るため、「青森・秋田・岩手・北海道合同商談会」を7月17日(木)に東京都大田区の東京流通センターで開催しました。

4道県の受注企業195社(うち岩手77社)、首都圏を中心とした発注企業114社に参加いただき、受発注企業いづれも過去最多の参加企業数となりました。

参加企業各社は、自社の特徴や得意とする技術等をPRし、取引拡大及び新規取引獲得に向けた商談を行いました。

当センターでは、本会における商談をフォローアップするとともに、今後も商談会の開催や個別の受発注取引マッチングにより、皆様の取引拡大を支援してまいりますので、お気軽にお問い合わせください。



■ お問い合わせ ■

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

取引拡大に意欲のある企業様必見！
県内外の発注企業様と商談しませんか？

参加企業
募集

令和7年度 いわて商談会

(公財) いわて産業振興センターでは、岩手県のものづくり産業の一層の集積と高度化に向け、県内外の発注企業と受注企業が一堂に会し、商談及び情報交換を行う場を提供することにより、受注機会の拡大、新規取引先開拓の推進等、受発注取引の活性化を図ることを目的に「いわて商談会」を開催いたします。皆様の積極的な御参加をお待ちしております。

開催日時	令和7年11月13日(木) 13:00~17:25 (商談会) 18:00~19:30 (懇親会)
会場	メトロポリタン盛岡 NEW WING 4階メトロポリタンホール (岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号)
商談方法	指名面談 (15分×10回)、フリー面談 (10分×3回)
参加費	【発注企業】 無料ご招待 【受注企業】 賛助会員：3,300円/名、岩手県内企業：6,600円/名 岩手県外企業：8,800円/名 【懇親会】 発注企業：無料ご招待、受注企業：6,000円/名 <u>※参加料及び懇親会費の納入につきましては、商談会終了後に納付案内を送付いたします。</u>
参加対象	岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業 (casting、樹脂、プレス、鉄骨・製缶、板金、表面処理、機械加工、設計、組立等)
参加定員 (先着順)	【発注企業】 100社 【受注企業】 200社程度 (県内企業100社、県外企業100社まで) ※会場の都合により、参加人数は各社最大2名までとさせていただきます。
申込期限	令和7年9月5日(金) ※定員になり次第、申込を終了させていただきます。予めご了承ください。
申込方法	センター HP (https://www.joho-iwate.or.jp/news/10995) より申込書をダウンロードの上、メール (torihiki@joho-iwate.or.jp宛) にてお申込ください。 <u>※Excel形式のままお申込みください。</u>
お問い合わせ先	ものづくり振興部 取引支援・産業集積担当 晴山、佐々木 TEL：019-631-3822 FAX：019-631-3830 Mail：torihiki@joho-iwate.or.jp